

東京湾溶存酸素情報

漁業調査指導船**江の島丸**により調査を実施しました。

- 水温は、表層で 18~17℃台、底層では 18~20℃台です。
- 塩分は、表層で 30~32 台、底層では 33~34 台です。
- 溶存酸素濃度は底層においても高い水準であり、**貧酸素水塊 (≦ 2.5ml/L)** は見られませんでした。
- 前回の調査よりも透明度が低く、水色の悪いところがありました。



底層の溶存酸素量(ml/L)

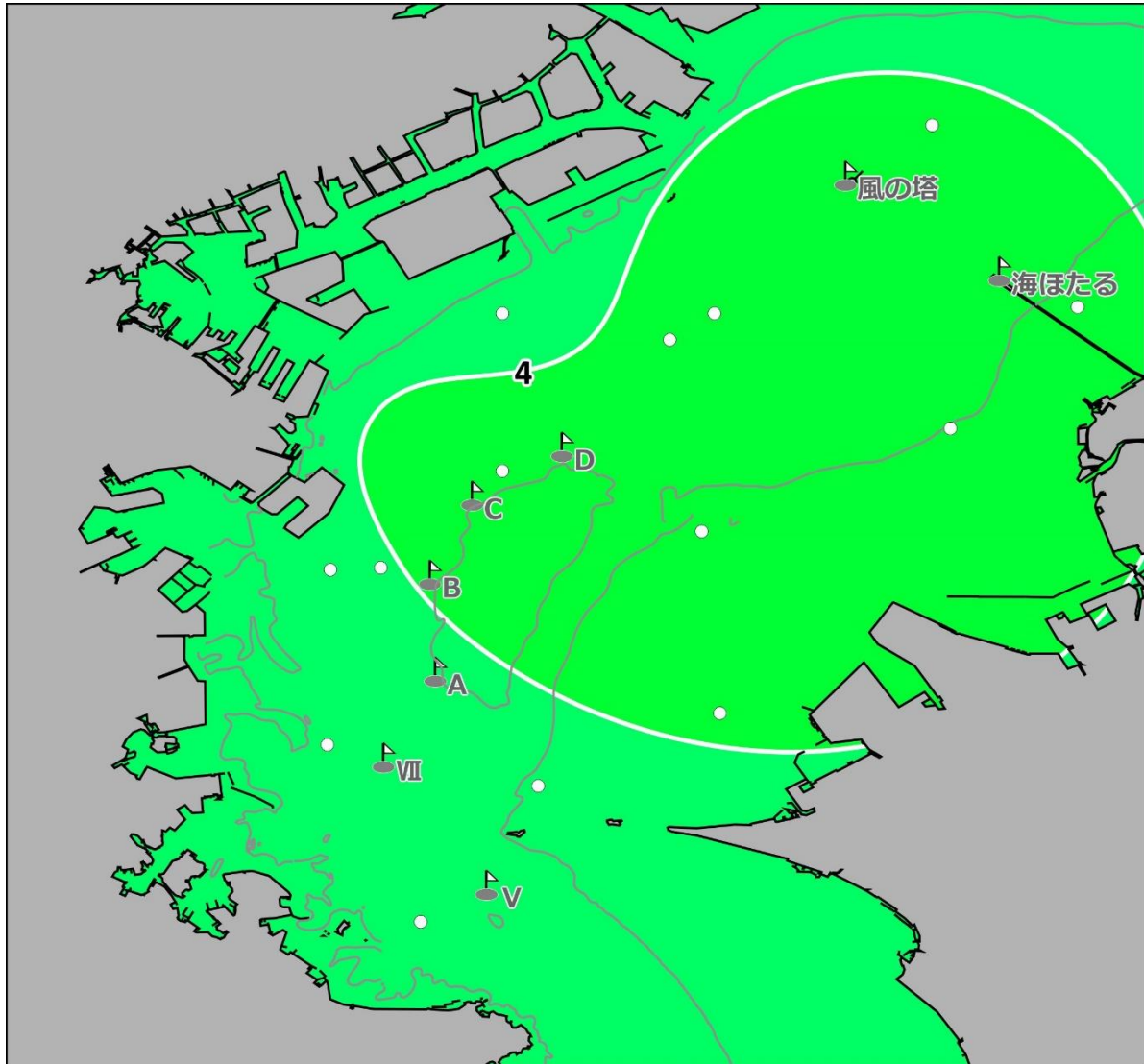
発行 神奈川県水産技術センター
企画資源部 海洋資源担当
電話 046(882)2313

表層と底層の水温差が小さくなっています。
溶存酸素濃度は十分に高い状態です。

東京湾溶存酸素情報

漁業調査指導船**江の島丸**により調査を実施しました。

- 溶存酸素濃度は底層においても高い水準であり、**貧酸素水塊**（ $\leq 2.5\text{ml/L}$ ）は見られませんでした。



底層の溶存酸素推定分布図 (ml/L)

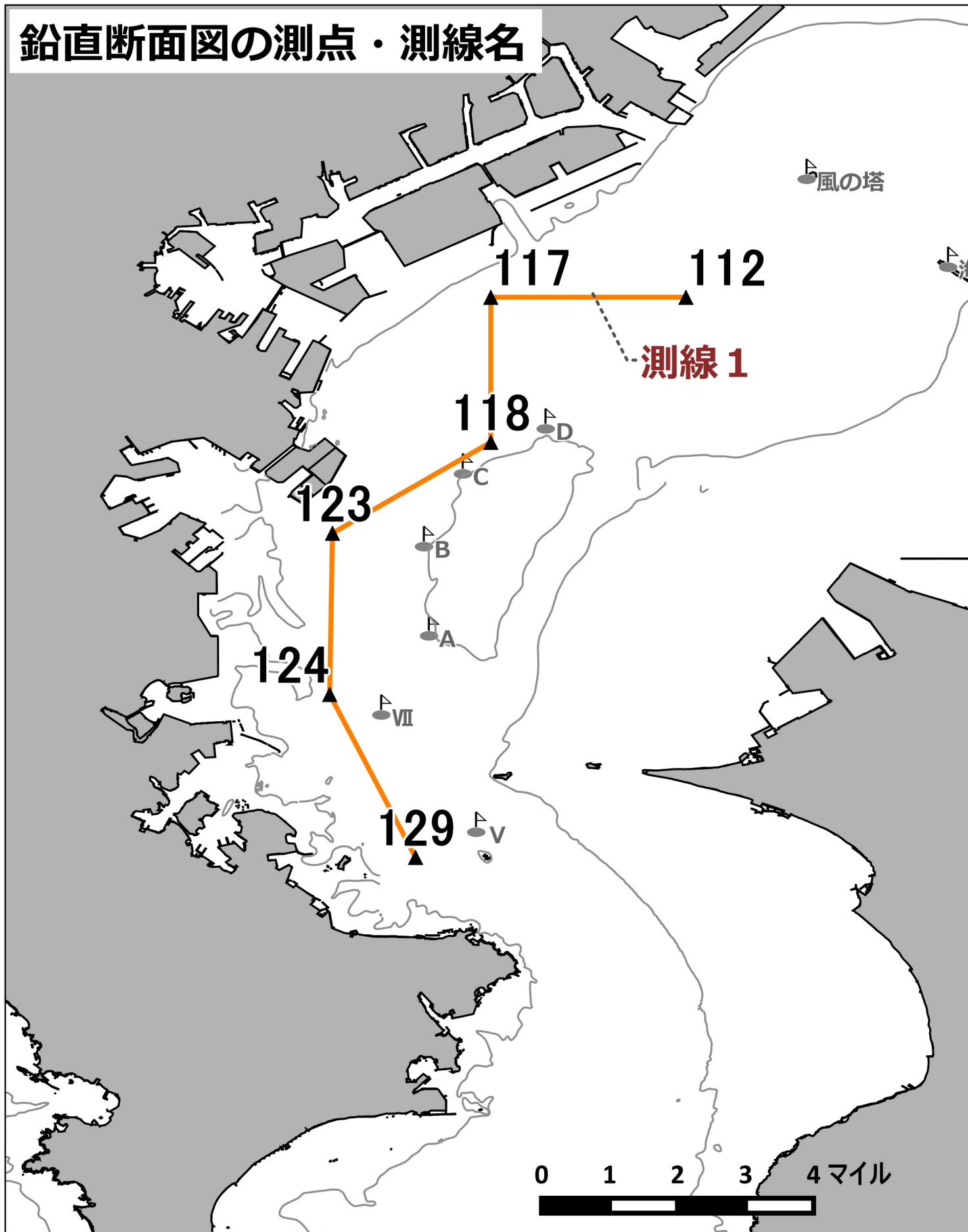
発行：神奈川県水産技術センター
企画資源部 海洋資源担当
電話 046(882)2313

データ提供：千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所

赤い線は貧酸素水塊の境界を、白い点は今回の調査の観測点を表しています。

※上記の分布図は調査による観測値から溶存酸素量を推定したものです。

鉛直断面図の測点・測線名



※等深線は水深20m

神奈川県水産技術センター

神奈川県水産技術センター 溶存酸素情報

2018年11月19日の観測結果 浅海定線調査

